



2025年3月期 第2四半期決算報告

2024年11月7日

1. 中期経営計画進捗

2. 2025年3月期 第2四半期決算報告

3. 2025年3月期 通期見通し

中期経営計画（～2026年3月末）

2030年の社会

メガシフト（価値観、生活、社会/環境、テクノロジー）

2030年の
ありたい姿

人と機械が共創する社会の中心企業

価値提供領域

クオリティオブライフ

インダストリー

事業領域

映像

ヘルスケア

精機

コンポーネント

デジタル
マニュファク
チャリング

数値目標

売上収益 7,000億円、営業利益率 10%以上、ROE 8%以上

2025年3月期：映像事業以外の業績は想定を下回って推移。次期中計に向け経営基盤強化に着手

2025年3月期 進捗（5事業セグメント）

計数：5月公表比

ビジネス上の主要トピックス

クオリティオブライフ

映像

- 売上収益／営業利益上振れ

- ミラーレスカメラ中級機のラインアップ拡充（Z6III、Z50II）
- RED社の連結子会社化完了

ヘルスケア

- 民間市場の市況回復遅延等により、業績下振れ

- 創薬支援のため英国、ドイツ、スイスにNikon BioImaging Lab開設

インダストリー

精機

- 半導体市況回復遅延により、販売台数／サービス収入とも大幅下振れ

- 半導体・後工程向けデジタル露光装置開発着手（2026年度市場投入）

コンポーネント

- 半導体市況回復遅延により、EUV関連コンポーネントを中心に業績下振れ

- 旧産業機器事業の構造改革（一部、事業譲渡を含む）下期実施
来期以降効果発現

デジタルマニュファクチャリング

- SLM社の業績は順調に拡大

- SLM社製大型金属3Dプリンターの米国生産体制を構築
- JAXA「宇宙戦略基金」に、大型金属AM技術が採択※

2025年3月期 進捗（経営基盤）

	課題	進捗
人的資本経営	<ul style="list-style-type: none">次世代人材の獲得、育成、活躍	<ul style="list-style-type: none">新卒者就職人気ランキング改善傾向（業界上位堅持）
サステナビリティ戦略	<ul style="list-style-type: none">社会の期待に「信頼」で応える「創造(事業)」を通じた社会への貢献	<ul style="list-style-type: none">高い外部評価を維持（GPIFのESG投資6指数すべてに採用）顕微授精用顕微鏡による増加する体外受精への貢献風力発電効率向上に向け、リフレットフィルム実証実験開始
DX	<ul style="list-style-type: none">顧客・従業員重視のデジタル化基幹システム刷新（300億円規模投資～2030年）	<ul style="list-style-type: none">顧客体験の向上を実現するB2B統合サイトの構築（2025年度開設予定）
ものづくり	<ul style="list-style-type: none">全事業を支える生産拠点の整備 老朽化対応、柔軟な生産体制に向け整備開始（1,000億円規模～2030年）	<ul style="list-style-type: none">R&D機能集約と多様な働き方を実現する 新本社/イノベーションセンター稼働コンポーネント事業の生産能力拡大のための新棟竣工（水戸）レンズ生産体制強化に向けて新棟建設の検討着手（栃木）
経営管理	<ul style="list-style-type: none">グループガバナンスの強化グローバルコンプライアンス体制の整備	<ul style="list-style-type: none">ガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンス機能を 経営管理本部に再編・集約

2025年3月期 進捗（5つの「成長ドライバー」）

事業領域	事業内容	成長ドライバー			進捗
		短期	中期 (~2025年)	長期 (~2030年)	
クオリティオブライフ	映像	・デジタルカメラ ・交換レンズ ・双眼鏡、距離計、望遠鏡	映像コンテンツ		映像コンテンツ制作スタジオ運営 家畜分娩検知などの画像AIビジネス展開
	ヘルスケア	・生物顕微鏡 ・網膜画像診断機器 ・細胞受託生産	細胞受託生産 創薬支援		細胞受託生産（CDMO）子会社 「ニコン・セル・イノベーション」業容拡大
インダストリー	精機	・FPD露光装置 ・半導体露光装置 ・計測／検査装置 ・サービス	デジタル露光		半導体・後工程向けデジタル露光装置開発着手 (データセンター向け大型チップレット市場がターゲット)
	コンポーネント	・光学／EUV関連 部品／コンポーネント ・エンコーダ ・測定検査装置 ・工業用顕微鏡	光学／EUV関連 コンポーネント		光学部品／コンポーネント／エンコーダの 新規顧客数が30社以上増加しビジネス基盤を確立
	デジタル マニュファク チャリング	・光加工機 ・金属3Dプリンター	材料加工／ ロボットビジョン		付加加工：金属3Dプリンター子会社SLM受注好調 ロボットビジョン※：工場自動化用途の製品を発売

全体として順調に進展。効率的なR&D投資を目指し、プロジェクトの優先順位付けを実施

※2024年9月末のセグメント別開示では、ロボットビジョン事業は「その他」に含まれる

2025年3月期 進捗（資本配分） – 株主還元の更なる充実

	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期
		中期経営計画期間（4年間）			
1株当たり配当	40円 <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">期末 20円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">中間 20円</div>	45円 (+5円増配) <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">期末 25円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">中間 20円</div>	50円 (+5円増配) <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">期末 25円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">中間 25円</div>	55円予想 (+5円増配) <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto; background-color: #FFD700;">期末 30円</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto; background-color: #FFD700;">中間 25円</div>	60円目標 (+5円増配) <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto; background-color: #FFD700;">年間 60円</div>
自己株式取得	—	300億円 <small>(発行済株式数の5.7%相当)</small>	—	300億円上限 <small>(予定)</small>	—
自己株式消却	—	26百万株 <small>(消却前発行済株式数の7.6%)</small>	—	自己株式取得で取得する全株式 (予定)	—
総還元性向	34.4%	102.0%	53.2%	300%以上* (予想)	—
政策保有株式の売却 <small>(自己株式取得の原資)</small>	196億円	12億円	166億円	売却継続	

政策保有株式の売却等を原資に、追加の自己株式取得300億円を下期実施

※自己株式取得における取得総額 300億円、取得株式総数 最大3,000万株、1株当たり配当 年間55円、親会社の所有者に帰属する当期利益 160億円として算出

1. 中期経営計画進捗

2. 2025年3月期 第2四半期決算報告

3. 2025年3月期 通期見通し

2025年3月期 上期：ポイント

上期実績 (前年比)

- **売上収益** : **3,327億円** (前年比 +15億円)
 - **営業利益** : **58億円** (前年比 ▲78億円)
 - **当期利益*** : **29億円** (前年比 ▲69億円)
- 売上収益は、半導体露光装置やEUV関連コンポーネントの販売減少があるも、映像事業やFPD露光装置の販売増加と円安効果で増収
 - 営業利益は、半導体露光装置やEUV関連コンポーネントの販売減少に伴う減益に加え、本社移転に伴う一時費用により減益

前回予想比 (8/8)

- **売上収益** : **▲133億円**
 - **営業利益** : **▲12億円**
 - **当期利益*** : **▲41億円**
- 売上収益と営業利益は、半導体露光装置やEUV関連コンポーネントの販売の後ろ倒しにより下振れ
 - 当期利益は、為替変動の影響を受けて外貨建て資産の評価額が為替換算により下がり、為替差損や投資有価証券の評価損が拡大したため大幅に下振れ

注：本資料で使用している数値は、億円未満は切り捨て
* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2025年3月期 上期：財務ハイライト

単位：億円	24年3月期	前回予想	25年3月期	前年比		前回予想比	
	上期実績	(8/8)	上期実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	3,312	3,460	3,327	+15	+0.4%	▲133	▲3.8%
営業利益	136	70	58	▲78	▲57.3%	▲12	▲16.9%
営業利益率	4.1%	2.0%	1.7%	▲2.4P		▲0.3P	
税引前利益	152	100	44	▲108	▲70.8%	▲56	▲55.5%
税引前利益率	4.6%	2.9%	1.3%	▲3.3P		▲1.6P	
当期利益*	98	70	29	▲69	▲69.8%	▲41	▲57.7%
当期利益率	3.0%	2.0%	0.9%	▲2.1P		▲1.1P	
FCF	▲259	-	▲2	+257	-	-	-
為替：USD	141円	150円	153円	売上収益への影響			
				+171		+42	
ユーロ	153円	161円	166円	営業利益への影響			
				+46		+10	

RED社買収や新本社に伴う支出があったものの、上期の営業CFは384億円と4四半期連続プラスとなり、FCF改善

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2025年3月期 Q2：財務ハイライト

単位：億円	24年3月期	25年3月期	前年比	
	Q2実績	Q2実績	増減額	増減率
売上収益	1,731	1,689	▲42	▲2.5%
営業利益	104	29	▲75	▲72.3%
営業利益率	6.0%	1.7%	▲4.3P	
税引前利益	104	▲2	▲106	▲101.8%
税引前利益率	6.0%	▲0.1%	▲6.1P	
当期利益*	73	2	▲71	▲97.1%
当期利益率	4.2%	0.1%	▲4.1P	
FCF	▲253	78	+331	-
為替：USDドル	145円	150円	売上収益への予想影響	
			+40	
ユーロ	157円	164円	営業利益への予想影響	
			+13	

* 親会社の所有者に帰属する四半期利益

2025年3月期 上期：セグメント別業績

単位：億円

		24年3月期	前回予想	25年3月期	前年比		前回予想比	
		上期実績	(8/8)	上期実績	増減額	増減率	増減額	増減率
映像事業	売上収益	1,376	1,550	1,517	+141	+10.2%	▲33	▲2.1%
	営業利益	252	250	288	+36	+14.4%	+38	+15.4%
	営業利益率	18.3%	16.1%	19.0%	+0.7P		+2.9P	
精機事業	売上収益	960	900	815	▲145	▲15.0%	▲85	▲9.4%
	営業利益	32	40	9	▲23	▲70.9%	▲31	▲76.4%
	営業利益率	3.4%	4.4%	1.2%	▲2.2P		▲3.2P	
ヘルスケア事業	売上収益	512	530	551	+39	+7.6%	+21	+4.0%
	営業利益	27	15	13	▲14	▲52.8%	▲2	▲13.4%
	営業利益率	5.4%	2.8%	2.4%	▲3.0P		▲0.4P	
コンポーネント事業	売上収益	366	340	304	▲62	▲16.9%	▲36	▲10.4%
	営業利益	51	40	14	▲37	▲71.0%	▲26	▲62.8%
	営業利益率	14.0%	11.8%	4.9%	▲9.1P		▲6.9P	
デジタルマニュファクチャリング事業	売上収益	82	130	117	+35	+42.4%	▲13	▲9.8%
	営業利益	▲87	▲60	▲64	+23	-	▲4	-
	営業利益率	▲106.0%	▲46.2%	▲54.9%	+51.1P		▲8.7P	
その他（含、全社費用等）	売上収益	14	10	20	+6	+43.3%	+10	+109.2%
	営業利益	▲139	▲215	▲203	▲64	-	+12	-
連結	売上収益	3,312	3,460	3,327	+15	+0.4%	▲133	▲3.8%
	営業利益	136	70	58	▲78	▲57.3%	▲12	▲16.9%
	営業利益率	4.1%	2.0%	1.7%	▲2.4P		▲0.3P	

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2025年3月期 上期：映像事業

単位：億円	24年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	25年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	1,376	1,550	1,517	+141	▲33
営業利益	252	250	288	+36	+38
営業利益率	18.3%	16.1%	19.0%	+0.7P	+2.9P
レンズ交換式 デジタルカメラ	39万台	-	41万台	+2万台	-
交換レンズ	61万本	-	65万本	+4万本	-

- **前年比**：Z8やZfの好調な販売や新製品Z6III投入によるレンズ交換式デジタルカメラと交換レンズの販売増に加え、円安効果もあり増収増益
- **前回予想比**：一部製品の販売が下期へ後ろ倒しになったことにより売上収益は下振れ。一方、製品ミックス改善や円安効果に加え、研究開発費や販売経費などの一部が下期に繰り延べられたことにより営業利益は上振れ

2025年3月期 上期：精機事業

単位：億円	24年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	25年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	960	900	815	▲145	▲85
営業利益	32	40	9	▲23	▲31
営業利益率	3.4%	4.4%	1.2%	▲2.2P	▲3.2P
FPD露光装置	4台	-	16台	+12台	-
半導体露光装置 新品／中古	11/3台	-	4/6台	▲7/+3台	-

- **前年比**：FPD装置事業は高精細パネル向け装置の販売が増加した一方、半導体装置事業は新品装置の販売が減少し、精機事業全体では減収減益
- **前回予想比**：FPD装置事業と半導体装置事業それぞれで、一部装置の据付が下期へ繰延となったことにより、売上収益・営業利益とも下振れ

2025年3月期 上期：ヘルスケア事業

単位：億円	24年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	25年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	512	530	551	+39	+21
営業利益	27	15	13	▲14	▲2
営業利益率	5.4%	2.8%	2.4%	▲3.0P	▲0.4P

- **前年比**：Q1は市況停滞を受け円安効果を除くと減収だったものの、Q2のアイケアは欧州を中心に販売が伸び、上期では円安効果を除いても増収。事業部全体での営業利益は先行投資の増加もあり減益
- **前回予想比**：売上収益は円安効果に加え、アイケアで米州の検眼医市場向けの伸長や欧州での大型受注により上振れるも、営業利益はライフサイエンスにおける市況回復遅れを主因にやや下振れ

2025年3月期 上期：コンポーネント事業

単位：億円	24年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	25年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	366	340	304	▲62	▲36
営業利益	51	40	14	▲37	▲26
営業利益率	14.0%	11.8%	4.9%	▲9.1P	▲6.9P

- **前年比**：市況の回復遅れによるEUV関連コンポーネントやエンコーダの販売減少等により、減収減益
- **前回予想比**：EUV関連コンポーネントの販売繰延やエンコーダの販売減少等により、売上収益・営業利益とも下振れ

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値。セグメント変更については48ページ参照

2025年3月期 上期：デジタルマニュファクチャリング事業

単位：億円	24年3月期 上期実績	前回予想 (8/8)	25年3月期 上期実績	前年比	前回予想比
売上収益	82	130	117	+35	▲13
営業利益	▲87	▲60	▲64	+23	▲4
営業利益率	▲106.0%	▲46.2%	▲54.9%	+51.1P	▲8.7P

- **前年比**：SLM社の大型金属3Dプリンター（NXGシリーズ）の好調な販売により前年比42.4%と大幅増収。営業利益は、増収効果や前年の構造改革一時費用（11億円）の剥落、コスト削減効果が寄与し、赤字幅縮小
- **前回予想比**：一部の装置販売が下期へ後ろ倒しとなり、売上収益・営業利益とも下振れ

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値。セグメント変更については48ページ参照

1. 中期経営計画進捗

2. 2025年3月期 第2四半期決算報告

3. 2025年3月期 通期見通し

2025年3月期 通期見通し：ポイント

売上収益

- **全社見通し 7,250億円**（前回予想から250億円下方修正）
 - 顧客の投資先送り等により、半導体装置事業やコンポーネント事業の販売が来期以降へ後ろ倒しになることから、250億円下方修正

営業利益

- **全社見通し 220億円**（前回予想から130億円下方修正）
 - 映像事業：上期実績を踏まえ、20億円上方修正
 - 精機事業：半導体装置事業で顧客の投資先送り等の影響を受け、60億円下方修正
 - ヘルスケア事業：市況回復遅れによるライフサイエンスの販売下振れによる減益や、アイケアの一時費用の増加により、20億円下方修正
 - コンポーネント事業：EUV関連コンポーネントやエンコーダの販売減による減益に加えて、インダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）で構造改革に伴う一時費用を見込むため、90億円下方修正

当期利益*

- **全社見通し 160億円**（前回予想から140億円下方修正）

株主還元

- **中間配当金25円、年間配当金予想55円**（前回予想据え置き）
- **自己株式の取得：300億円（上限）実施予定**（取得期間 2024年11月8日～2025年3月24日）
- **自己株式の消却：上記により取得した自己株式の全株式を2025年3月31日に消却予定**

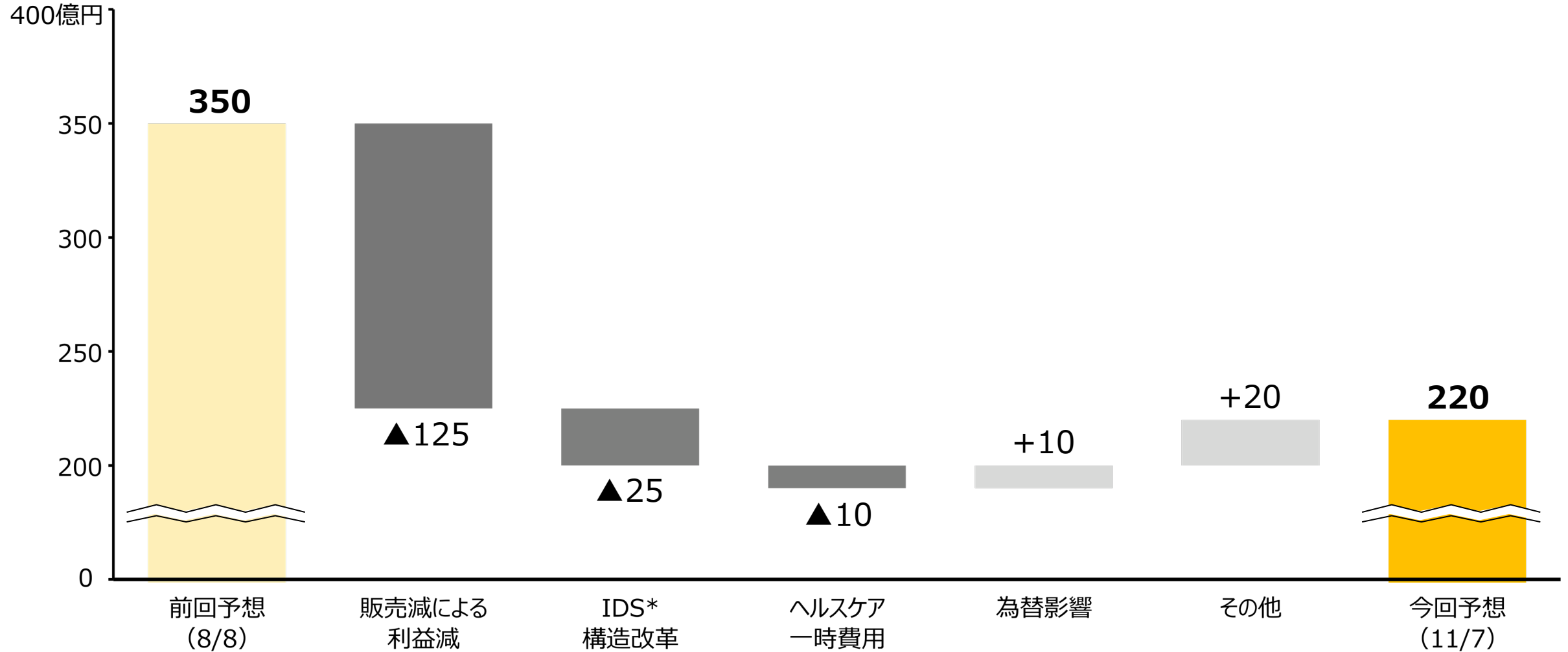
為替前提

- **USD 149円、ユーロ 161円**（下期は、USD 145円、ユーロ 155円と前回予想据え置き）

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

2025年3月期 通期見通し：営業利益予想の変動要因

連結営業利益



* IDS：インダストリアルソリューションズ事業の略称。セグメント変更については48ページ参照

2025年3月期 通期見通し：財務ハイライト

単位：億円	24年3月期 実績	前回予想 (8/8)	今回予想 (11/7)	前年比	前回予想比
売上収益	7,172	7,500	7,250	+78	▲250
営業利益	397	350	220	▲177	▲130
営業利益率	5.5%	4.7%	3.0%	▲2.5P	▲1.7P
税引前利益	426	400	220	▲206	▲180
税引前利益率	5.9%	5.3%	3.0%	▲2.9P	▲2.3P
当期利益*	325	300	160	▲165	▲140
当期利益率	4.5%	4.0%	2.2%	▲2.3P	▲1.8P
ROE	5.0%	4.3%	2.4%	▲2.6P	▲1.9P
EPS	94.03円	86.59円	46.17円	▲47.86円	▲40.42円
年間配当	50円	55円	55円	+5円	±0円
為替：USD	145円	148円	149円	売上収益への予想影響	
				+121	+42
ユーロ	157円	158円	161円	営業利益への予想影響	
				+34	+10

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

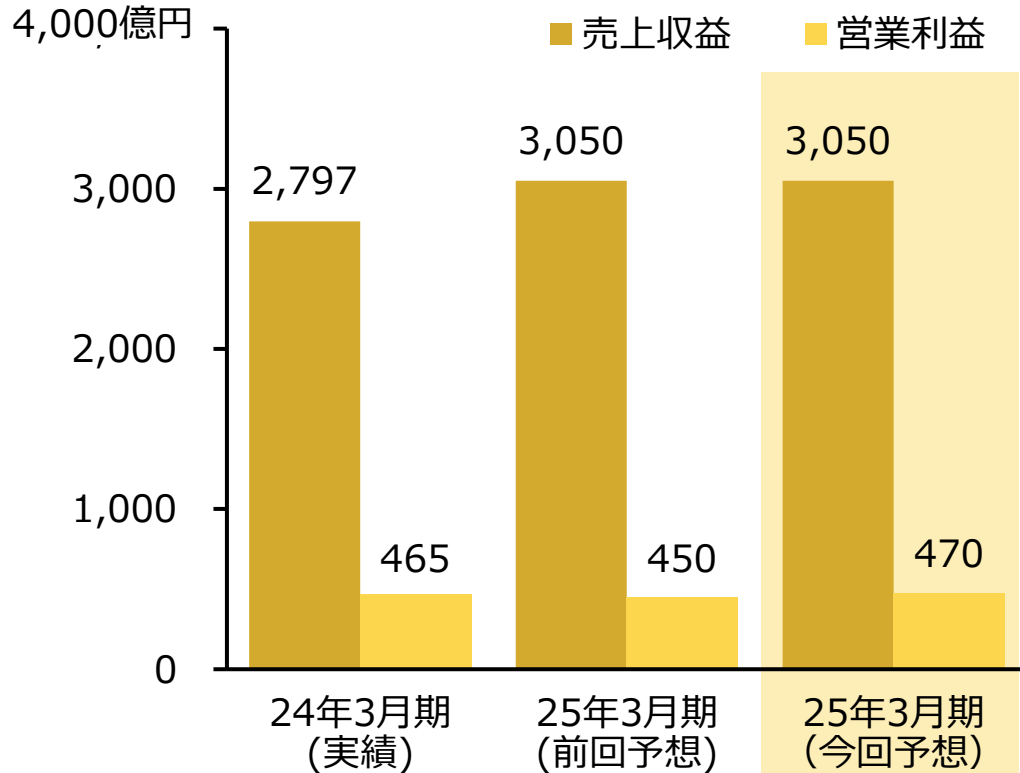
注：予想EPSの前提となる発行済株式数：前回予想約346.5百万株、今回予想約346.6百万株

2025年3月期 通期見通し：セグメント別見通し

単位：億円		24年3月期実績	前回予想 (8/8)	今回予想 (11/7)	前年比	前回予想比
映像事業	売上収益	2,797	3,050	3,050	+253	±0
	営業利益	465	450	470	+5	+20
	営業利益率	16.6%	14.8%	15.4%	▲1.2P	+0.6P
精機事業	売上収益	2,193	2,150	1,950	▲243	▲200
	営業利益	151	150	90	▲61	▲60
	営業利益率	6.9%	7.0%	4.6%	▲2.3P	▲2.4P
ヘルスケア事業	売上収益	1,078	1,150	1,150	+72	±0
	営業利益	53	100	80	+27	▲20
	営業利益率	5.0%	8.7%	7.0%	+2.0P	▲1.7P
コンポーネント事業	売上収益	859	850	780	▲79	▲70
	営業利益	151	170	80	▲71	▲90
	営業利益率	17.6%	20.0%	10.3%	▲7.3P	▲9.7P
デジタル マニュファクチャリング事業	売上収益	210	280	280	+70	±0
	営業利益	▲140	▲95	▲95	+45	±0
	営業利益率	▲67.1%	▲33.9%	▲33.9%	+33.2P	±0.0P
その他 (含、全社費用等)	売上収益	32	20	40	+8	+20
	営業利益	▲283	▲425	▲405	▲122	+20
連結	売上収益	7,172	7,500	7,250	+78	▲250
	営業利益	397	350	220	▲177	▲130
	営業利益率	5.5%	4.7%	3.0%	▲2.5P	▲1.7P

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値

2025年3月期 通期見通し：映像事業



● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 +253億円）

- レンズ交換式デジタルカメラ市場は堅調に推移
- Z9の先進技術を活用した新製品（Z6IIIやZ50II）の投入によるラインアップ拡充により売上収益・販売台数ともに順調に拡大

● 営業利益：前回予想比+20億円（前年比 +5億円）

- 上期実績を踏まえ、前回予想を20億円引き上げ
- 前年比では、レンズ交換式デジタルカメラおよび交換レンズの販売台数の増加や円安効果により増益を見込む

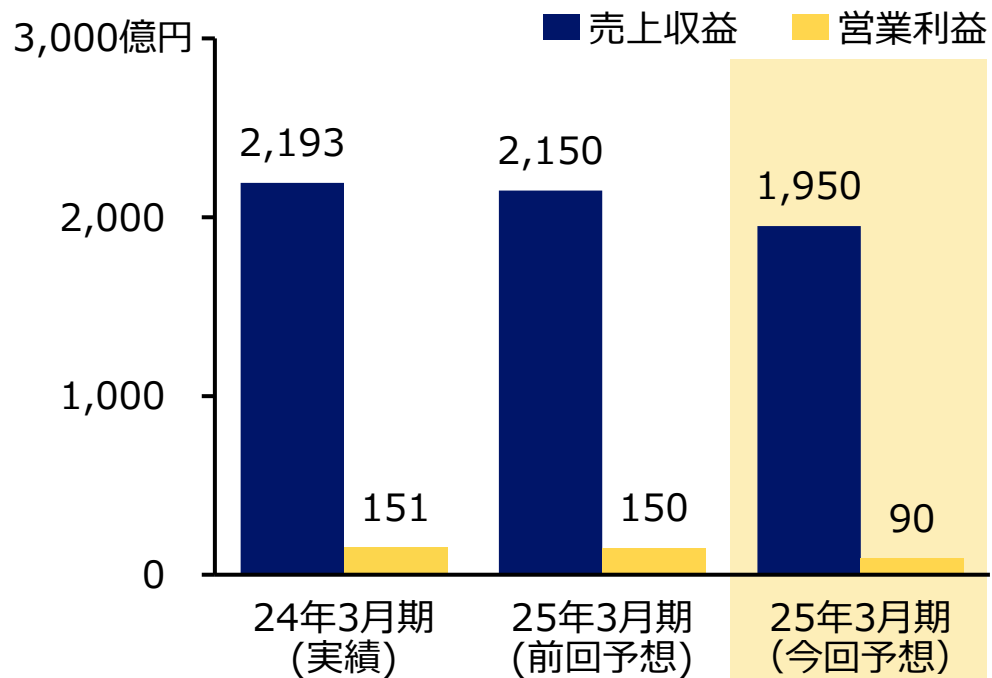
レンズ交換式デジタルカメラ（万台）

市場規模	620	610	610
ニコン	80	85	85

交換レンズ（万本）

市場規模	987	960	960
ニコン	125	135	135

2025年3月期 通期見通し：精機事業



● 売上収益：前回予想比▲200億円（前年比 ▲243億円）

- 前回予想比では、主に半導体装置事業で、市況回復の遅れから一部顧客の投資先送りにより装置の納入が来期へ繰り延べられたこと等により、精機事業全体では200億円引き下げ
- 前年比では、高精細パネル向けFPD露光装置の大幅な販売増加を見込む一方、ArF露光装置の販売減少を補いきれず、精機事業全体では減収

● 営業利益：前回予想比▲60億円（前年比 ▲61億円）

- 売上収益の修正を踏まえ、前回予想を60億円引き下げ

FPD露光装置販売台数（台）

市場規模 (CY23/24)	46	60	60
ニコン	16	39	38

半導体露光装置販売台数（新品／中古、台）

市場規模 (CY23/24)	520	600	600
ニコン	31/15	24/11	18/10

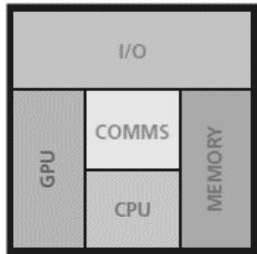
注：25年3月期より、CY24半導体露光装置の市場規模には、200ミリ以下対応の露光機を新たに含める

精機事業：半導体・後工程向けデジタル露光装置開発 - 2026年度市場投入

開発の背景・ニーズ

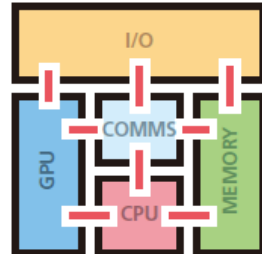
✓ AIの進展⇒アドバンスパッケージが拡大

モリシック



歩留まり向上
ファブ利用率向上
開発期間短縮

チップレット



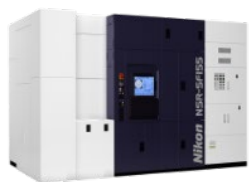
配線パターンの微細化
パッケージの大型化

高解像度と大露光面積を両立するデジタル（直描）露光装置

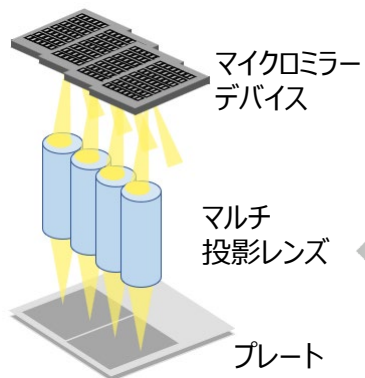
半導体露光装置

関連技術

高精度露光技術



デジタル露光技術



FPD露光装置

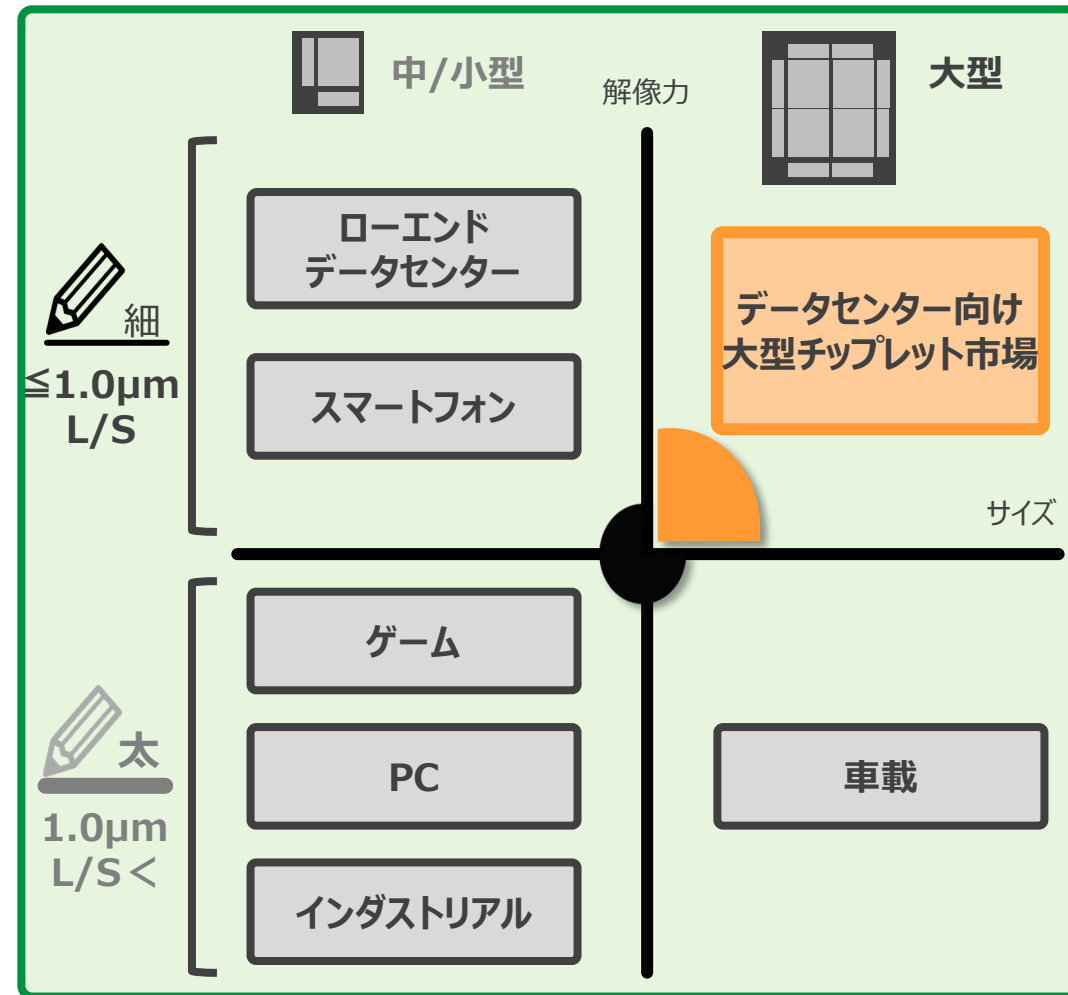
関連技術

大型パネル・ハンドリング
マルチ投影レンズ



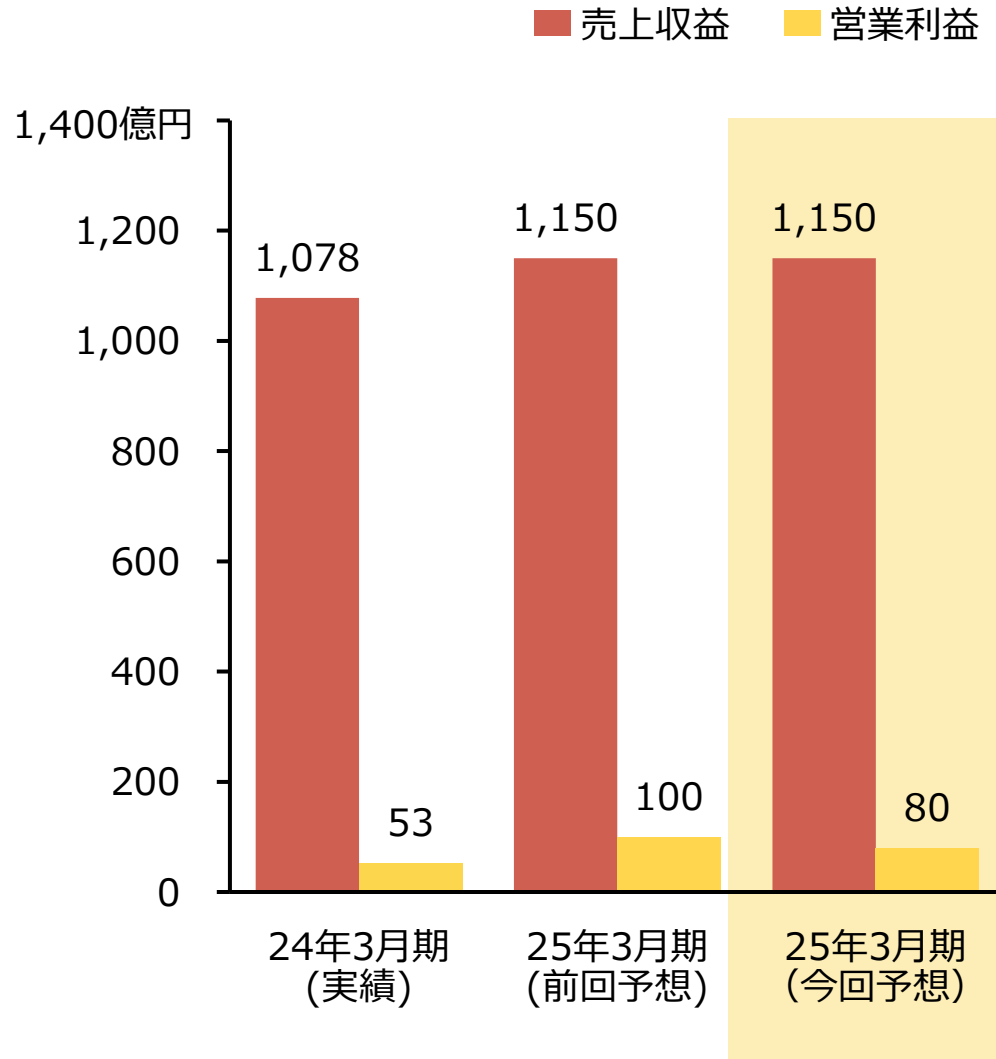
PLP (Panel Level Package) 向けデジタル露光装置

アドバンスパッケージ露光装置の活用領域



基板の大型化と配線パターンニングの微細化が進むデータセンター向け大型チップレット市場がターゲット

2025年3月期 通期見通し：ヘルスケア事業



● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 +72億円）

- ライフサイエンスは、米国の金利高止まりと中国の景気悪化の影響が懸念されるものの、民間市場の開拓、創薬支援サービス強化により計画達成を目指す
- アイケアは、欧米での検眼医・大型チェーン向け需要により、前年比増収を見込む
- 細胞受託生産は、受注拡大による前年比増収を見込む

● 営業利益：前回予想比▲20億円（前年比 +27億円）

- 主にQ2以降の市況回復遅れによるライフサイエンスでの販売下振れに伴う利益減に加え、アイケア関連の一時費用の追加10億円を見込み、前回予想を20億円引き下げ
- 細胞受託生産は、売上収益の拡大により継続的な利益貢献ステージへ

注：24年3月期（実績）は41億円、25年3月期（今回予想）は20億円の一時費用を含む。一時費用の主な詳細は、決算短信17ページ（偶発負債）参照

ヘルスケア事業：細胞受託生産 – 順調に業容拡大

●これまでの取り組み

- 100%子会社のニコン・セル・イノベーションで細胞受託生産を展開
- 受託製造世界最大手のLonza社と、戦略的業務提携契約を2015年に締結
- 9年間でノウハウ積み上げ、日本最大規模の再生医療CDMO*に成長
- 世界基準の生産設備、オペレーション、品質管理を日本国内の顧客に提供し、複数の商用化された**細胞医薬品**を受託生産中

●細胞医薬品と抗体医薬品の違い

	細胞医薬品	抗体医薬品
定義	生体細胞を利用した治療薬	特定の抗原に結合する抗体を利用した治療薬
特徴	細胞そのもので病気を治癒	タンパク質で細胞の抗原を狙い撃ち
製造方法	全工程を通じて無菌操作が必要	最終製品の滅菌・ろ過が可能 遺伝子組換技術を用いた抗体生成
概念図	<p>培養(個別対応) → 細胞医薬品 例: 心筋球 全工程を通じて無菌操作等の高い技術が必要</p>	<p>大量培養 → 目的のタンパク質を抽出・精製 → 抗体 → 抗体医薬品</p>



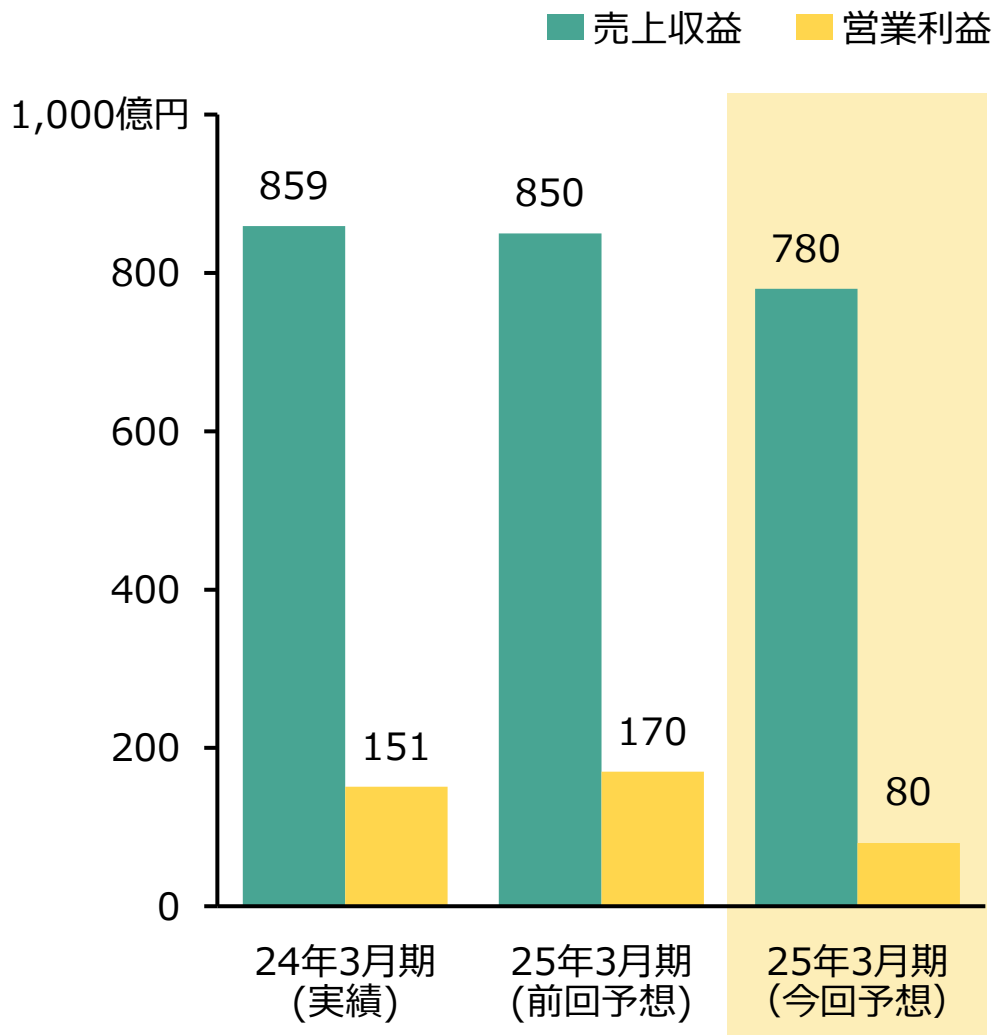
●商用化・治験中の実例

- 10件程度のプロジェクト進行中

顧客名	取組内容
Bristol Myers Squibb社	CAR-T (がんに対する免疫療法) 複数の商用・治験薬製造を拡大するため、当社では人員採用を加速中
Heartseed株式会社	iPS細胞由来心筋細胞・心筋球 顧客側でスケールアップの治験が進行中
株式会社セルージュン	iPS細胞由来角膜内皮代替細胞
株式会社S-Quatre	マスターセルバンクの構築

* CDMO : Contract Development and Manufacturing Organization (受託開発・生産)

2025年3月期 通期見通し：コンポーネント事業



● 売上収益：前回予想比▲70億円（前年比 ▲79億円）

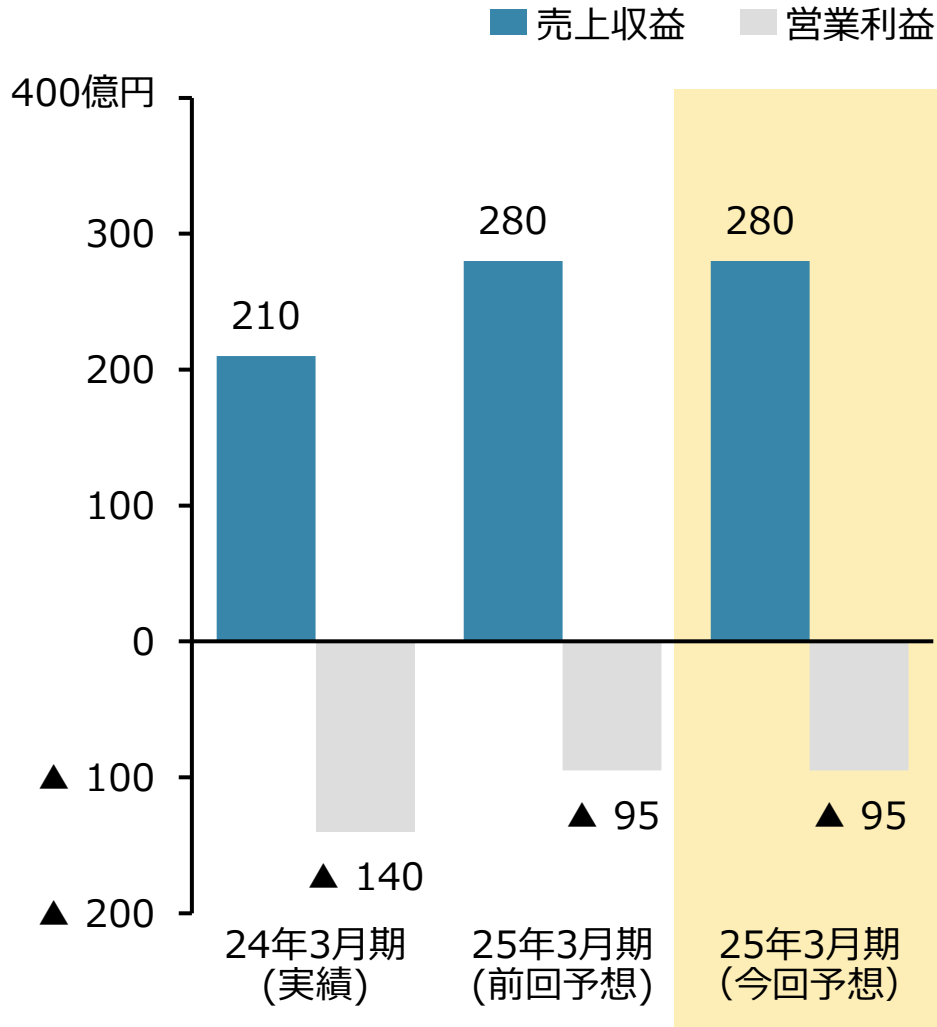
- 半導体やFA市場では、一部で底打ち感があるものの、顧客の投資の先送り等により需要回復に至らず、前回予想比でEUV関連コンポーネント、画像測定システム、エンコーダの販売が減少し、70億円引き下げ
- 航空宇宙向けX線/CT検査装置の販売は順調
- 光学コンポーネントは顧客拡大により順調に受注を獲得

● 営業利益：前回予想比▲90億円（前年比 ▲71億円）

- 前回予想比では、減収による減益に加え、インダストリアルソリューションズ事業（旧産業機器事業）で構造改革による一時費用（25億円）を下期に見込み、90億円引き下げ
- インダストリアルソリューションズ事業部の設立で事業最適化を進め、来期以降の営業利益の改善を狙う

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値。セグメント変更については48ページ参照

2025年3月期 通期見通し：デジタルマニュファクチャリング事業



● 売上収益：前回予想据え置き（前年比 +70億円）

- 金属3Dプリンター市場は、航空宇宙・防衛産業での需要増加により、大型機を中心に拡大を予想
- 前年比では、大型金属3Dプリンター（NXGシリーズ）の好調な受注を背景に増収を見込む

● 営業利益：前回予想据え置き（前年比 +45億円）

- 前年比では、増収効果と前年の一時費用の剥落（18億円）により、営業赤字幅は縮小
- SLM社はEBITDAベースで通期黒字を目指す

注：24年3月期実績はセグメント変更による組み替え後の数値。セグメント変更については48ページ参照

注：25年3月期のSLM社買収に伴う無形資産償却費見込額：37億円

注：EBITDA黒字化見通し：事業全体 26年3月期、SLM社単体 25年3月期

注：営業利益黒字化見通し：事業全体 27年3月期、SLM社単体 26年3月期